

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英語演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0228		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科		電子情報工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	1		
教科書/教材		TOEIC公式問題集、『TOEICL&Rテスト出る単特急金のフレーズ』					
担当教員		山村 啓人					
到達目標							
TOEICの基礎となる高校卒業レベルの英文法・構文を理解しながら、TOEICに頻出する語彙・フレーズを覚え、年間100点UPもしくは、最低500点取得を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英文の構造や英単語を理解し、TOEICテストのパート5の80%を正解することができる。		英文の構造や英単語を概ね理解し、TOEICテストのパート5の60%を正解することができる。		英文の構造や英単語をあまり理解しておらず、TOEICテストのパート5に対応することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要		(1) 目標 グローバル社会で活躍する人材の条件のひとつとして、英語コミュニケーション能力を養う。その中でも、リーディング力の基礎となる文法の理解と運用を確固たるものにするを目標とする。 (2) 概要 TOEICのリーディングセクション、特にPart5の問題演習と講義を中心に授業を進める。また、同時にTOEICに対応できる語彙力養成にも焦点を置く。					
授業の進め方・方法		教員単独による個別問題演習、全体講義					
注意点		定期試験80%、毎回行う単語テストを20%とし評価する。評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者は、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		授業の基本的な考え方、進め方のガイダンス		
		2週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		3週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		4週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		5週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		6週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		7週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		8週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
	4thQ	9週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		10週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		11週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		12週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		13週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		14週	Part5問題演習		TOEICの問題文に含まれる語彙や文法を理解し、内容を正確かつ素早く読み取ることができる。		
		15週	期末試験				
		16週	試験の返却と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0